

2007 年度日本国際経済法学会理事会議事録

日時 2007 年 10 月 20 日 (土) 12:30-14:00

場所 同志社大学 寒梅館 6 階 大会議室

出席者

荒木一郎	位田隆一	江藤淳一	柏木昇	川島富士雄	川瀬剛志
久保田隆	小寺彰	佐野寛	佐分晴夫	須網隆夫	瀬領真吾
泉水文雄	平覚	高杉直	道垣内正人	内記香子	中川淳司
根岸哲	野村美明	稗貫俊文	福永有夏	松本健	間宮勇
森下哲朗	(25 名)				

委任状

阿部克則	石黒一憲	岩沢雄司	金井貴嗣	木棚照一	茶園成樹
出口耕自	早川吉尚	舟田正之	山内惟介		
	(10 名)				

理事・監事以外の出席者

竹下啓介 (庶務副主任)

1. 定足数の確認

委任状を含め、定足数が満たされていることが確認された (規約第 16 条第 3 項により理事の 3 分の 2 が定足数)。

2. 2006 年度理事会議事録の承認

資料 1 について、1 頁目の「江藤淳一 (庶務副主任) 出口耕自 (会計副主任)」とされている点を、「江藤淳一 (会計副主任) 出口耕自 (庶務副主任)」と修正すべきとされ、修正したものを議事録として確定することで、承認された。

3. 会員の異動

12 名の入会が承認され、総会の承認を求めべく提案することとされた。また、10 名の退会について了承された。

詳細は、資料 2 参照。

「会費滞納者の資格喪失手続に関する申し合わせ」(2005 年 10 月 29 日役員会承認) について、改正前の申し合わせでは、3 年間の滞納前に資格喪失の警告状の送付等の手続を行わなければならない、運用上、手続を実施しづらいという問題があったため、3 年間の滞納を

確認してから警告書の送付等の手続を進め、4年目の9月末日をもって退会とするための改正が提案され、了承された。

詳細は、資料3のとおり。

4. 2006年度決算案

資料4のとおり、2006年度決算案が異議なく承認され、総会の承認を求めるために提出されることとされた。

なお、2006年度については、支出予算額と比較して支出決算額は合計で約40万円程度大きくなっているが、滞納会費の徴収等によって収入額が増額したため、単年度収支としても約28万円の黒字となったことが、報告された。

5. 2008年度以降の活動方針

理事の編成につき、年代バランスを考慮したものに変更したにもかかわらず、変更が活用されていないため、国際交流・学会財政基盤の拡充・学会の拡大及び活性化等、学会の今後のあり方を考える若手理事を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、検討を進めることが理事長より提案され、了承された。

なお、プロジェクトチームの構成員の人選については、理事長に一任とすることとされた。

6. 2008年度予算案

資料5のとおり、2008年度予算案が異議なく承認され、総会の承認を求めるために提出されることとされた。

なお、予算案では、単年度収支としては約80万円程度の赤字となっている点につき、支出額は余裕をもって設定し、収入額は堅く見積もったためであり、学会財政の悪化が理由ではないことが報告された。ただし、実際に赤字になるとすれば、今後、さらに支出の削減・収入の増加（滞納会費の徴収、会員の増加）を検討する必要があることも、併せて、報告された。

7. 研究大会

研究運営委員会主任より、2007年度の研究大会について、研究運営委員会の引き継ぎ等が遅れたため、分科会方式を採ることなく、午前・午後共に、統一テーマ（知的財産権、投資仲裁）を設定しての共通論題方式としたことが報告された。

また、同主任より、2008年度の研究大会については、午前に分科会方式を採り、午後、統一テーマを設定しての共通論題方式を採る予定であること、開催校は、青山学院大学の予定であること、日程については、開催校と調整の上、10月25日、26日、11月1日、2日のいずれかとする事が報告された。

なお、報告者募集については昨年度と基本的には同様であること、ただし、以前よりも若手の報告の機会が増えるように募集を行うようにすることが報告され、了承された。

8. 日本国際経済法学会年報の編集

編集委員会主任より、第16号の刊行について、報告された。

投稿を増やすために、特に、若手会員に対して呼びかけを行うことが望ましいとされた。また、文献紹介が予定より少ないが、これは新執行部への移行の関係で、例年より執筆依頼が遅くなったためであり、17号以降の編集では特段問題がないと考えられることが報告された。

9. 名誉会員制度

理事長より、規約9条が定める名誉会員制度につき、当面、新規の名誉理事の推薦を行わないこととすることが提案され、了承された。

10. 韓国からの来賓

理事長より、韓国からの来賓（国際去来法学会会長孫京漢先生、同会員石光現先生、高東源先生、朴徳英先生）があったこと、及び来賓の懇親会への参加費用について学会が費用負担をすることが報告され、了承された。

11. その他

(1) 出店の許可及び傍聴の許可

研究大会における出店の許可（極東書店及び法律文化社）について了承された。また、2007年度研究大会の傍聴の許可について、庶務主任に一任することが了承された（なお、午前中には、既に、14名の傍聴希望者があった旨報告された。）。

(2) Society of International Economic Law

中川理事より、Society of International Economic Lawに関する報告があり、総会で会員全体に対する情報提供を行うことが了承された。

2007年度研究大会の案内の送付及び出欠の確認について、一部、e-mail及びWebを用いて実施されたことが報告された。また、今後、経費削減等に鑑み、基本的に、e-mail及びWebの活用を進めることが、了承された。

以上

2007 年度日本国際経済法学会総会議事録

日時 2007 年 10 月 20 日 (土) 14:00-14:30

場所 同志社大学 寒梅館 1 階 ハーディーホール

1. 定足数の確認

委任状を含め、定足数が満たされていることが確認された（規約第 15 条第 3 項により会員の 4 分の 1 が定足数。）。

2. 決議事項

- (1) 新入会員の承認
- (2) 2006 年度決算案の承認
- (3) 2008 年度以降の活動方針の承認
- (4) 2008 年度予算案の承認

理事長から、規約第 6 条に基づき、理事会の承認を得た(1)について説明の上、総会に諮られ、全員一致、これを承認した。

理事長から、規約第 20 条に基づき、監事の監査を受け理事会の承認を得た(2)について説明の上、総会に諮られ、全員一致、これを承認した。

理事長から、理事会からの(3)に関する提案（今後の学会のあり方について検討を行うために、若手理事を中心とするプロジェクトチームを立ち上げること）について説明の上、総会に諮られ、全会一致、これを承認した。

理事長から、規約第 19 条に基づき、理事会からの提案である(4)について説明の上、総会に諮られ、全員一致、これを承認した。

3. 報告事項

理事長から、理事会で審議されたその他の事項について報告があり、全員一致、これを了承した（理事会議事録参照。）。

以上

日本国際経済法学会2006年度決算(案)

2006年4月1日～2007年3月31日

I 収入の部

費目	予算額	収入額	差異
1. 学会費	2,732,000	3,237,500	505,500
2. 学会傍聴者聴講費	5,000	30,000	25,000
3. 学会誌売上	20,000	0	-20,000
4. 利息等収入	10	903	893
5. 学術著作権協会	72,000	21,694	-50,306
6. その他	0	0	0
当期収入合計	2,829,010	3,290,097	461,087
前年度繰越金	4,012,992	3,442,256	-570,736
収入合計	6,842,002	6,732,353	-109,649

II 支出の部

費目	予算額	支出額	差異
a. 大会関係			
1. 大会開催援助費	300,000	300,000	0
2. 非会員報告者交通費	50,000	0	50,000
3. プログラム印刷費等	30,000	106,050	-76,050
b. 学会誌関係			
4. 学会誌買取費(会員配布用)	1,119,360	1,410,864	-291,504
5. 出版手数料	240,000	400,000	-160,000
6. 雑誌梱包費・送料	50,000	100,700	-50,700
c. 委員会関係費			
7. 編集委員会費	120,000	61,430	58,570
8. 研究運営委員会費	200,000	131,060	68,940
d. 執行部・庶務関係			
9. 執行部会議費	20,000	39,187	-19,187
10. 執行部旅費	150,000	190,180	-40,180
11. 通信費	100,000	145,020	-45,020
12. 消耗品費	30,000	10,294	19,706
13. アルバイト代	100,000	45,000	55,000
14. 会費徴収手数料	40,000	60,059	-20,059
15. 雑費	20,000	6,000	14,000
19. 予備費	50,000	0	50,000
当期支出合計	2,619,360	3,005,844	-386,484
次年度繰越金	4,222,642	3,726,509	
合計	6,842,002	6,732,353	

監査の結果、上記の決算報告を正当と認めます。

2007年 8 月 31 日

監事 松本健 (印)

監事 金井貴嗣 (印)

日本国際経済法学会2008年度予算(案)

2008年4月1日～2009年3月31日

I 収入の部

費目	2006年度予算額	2006年度決算額	2008年度予算案	
1.学会費	¥2,732,000	¥3,237,500	¥2,450,000	注1
2.学会傍聴者聴講費	¥5,000	¥30,000	¥20,000	
3.学会誌売上	¥20,000	¥0	¥0	
4.利息等収入	¥10	¥903	¥900	
5.著作権料	¥72,000	¥21,694	¥20,000	
6.その他	¥0	¥0	¥0	
当期収入合計	¥2,829,010	¥3,290,097	¥2,490,900	
前年度繰越金	¥4,012,992	¥3,442,256	¥3,726,509	
収入合計	¥6,842,002	¥6,732,353	¥6,217,409	

II 支出の部

費目	2006年度予算額	2006年度決算額	2008年度予算案	
大会関係				
1.大会開催援助費	¥300,000	¥300,000	¥300,000	注2
2.非会員報告者交通費	¥50,000	¥0	¥50,000	
3.プログラム印刷費等	¥30,000	¥106,050	¥30,000	
学会誌関係				
4.学会誌買取費(会員配布用)	¥1,119,360	¥1,410,864	¥1,400,000	
5.出版手数料	¥240,000	¥400,000	¥400,000	
6.雑誌梱包費・送料	¥50,000	¥100,700	¥100,000	
委員会関係				
7.編集委員会費(旅費・通信費を含む)	¥120,000	¥61,430	¥120,000	注3
8.研究運営委員会費(旅費・通信費を含む)	¥200,000	¥131,060	¥200,000	注4
執行部関係				
9.執行部会議費	¥20,000	¥39,187	¥20,000	
10.執行部旅費	¥150,000	¥190,180	¥200,000	
11.通信費	¥100,000	¥145,020	¥100,000	
12.消耗品費	¥30,000	¥10,294	¥30,000	
13.アルバイト代	¥100,000	¥45,000	¥150,000	
14.会費徴収手数料	¥40,000	¥60,059	¥70,000	
15.雑費	¥20,000	¥6,000	¥100,000	
16.予備費	¥50,000	¥0	¥50,000	
当期支出合計	¥2,619,360	¥3,005,844	¥3,320,000	
(単年度収支)	¥209,650	¥284,253	¥-829,100	
次年度繰越金	¥4,222,642	¥3,726,509	¥2,897,409	
合計	¥6,842,002	¥6,732,353	¥6,217,409	

注1:個人会費6,000円×個人会員数400名+団体会費50,000円×1団体=2,450,000円

注2:「大会会場費」を含む。

注3:編集委員会関係の旅費・通信費を含む。

注4:研究運営委員会関係の旅費・通信費を含む。